

産業廃棄物処理業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8～9	4トントラックに廃棄物コンテナを積み込むため、後輪に右足をのせてクレーン作業をしていたとき、飛散防止用の網を押さえていたゴムに片足が絡まり、それを取ろうとして右足がタイヤから滑り落ち、足を着いて転倒をし、骨折をした。	51	10 ～ 29
1	18～ 19	プラント更新工事中に、作業終了後に1階フロアに下りようと昇降梯子まで行っていたが、下りずに破砕機点検口前から横の架台に飛び移って下りようとしたが、架台（約2.7m）から落下した。	45	10 ～ 29
1	16～ 17	分別（事業所で）作業中、コンテナの中からプラスチックのケースを取ろうとして、フレコンバックを踏み台にして、降りる時にフレコンバックの紐に足をからませてバランスをくずし、右後方に上向きに倒れてしまい、右の肘と手首足首を痛めた。	47	1～ 9
1	16～ 17	会社において、収集・運搬してきた荷降ろし作業中、トラック（2t平ボディー）荷台アオリのコンパネに足をのせて立ち位置を移動しようとして振り返ったところ、積荷（フレコン袋）に身体がぶつかりバランスを崩した為、荷台から落下（約高さ1.8m）、その際コンクリートの地面に左足を強くつき、その際にスニーカータイプの安全靴を履いていたが、踵を骨折した。	46	10 ～ 29
1	17～ 18	自動車用道路で、大型車を駐車しようとバックしたときに、工場内カーブミラーに接触させてしまい、ミラーの位置がずれたので戻そうと、パレット上に製品が置いてあるものを台の代わりにして上がってしまい、ミラーに触った途端、ミラーが外れ、一緒に転落した（2m程度）。	62	50 ～ 99
	14～	工場内での荷降ろし中、ウイング車の積荷（ダンボール）を荷台の上で引っ張り出		50

1	15	そうとしたところ、ダンボールが破れたため体勢を崩しそのまま落下して、腰部他を強打した。	53	～ 99
1	17～ 18	工場汚泥焼却炉敷地内で、機械設備の一部である配管の清掃作業を脚立（高さ150cm）に乗って行っていたところ、誤って脚立から落下し負傷した。安全帯の着用を義務づけていたが着用していなかった。	38	100 ～ 299
2	8～9	ダスト減容機の飛散防止BOX上で詰まりの除去を行っていたところ、蒸気にあおられバランスを崩し、BOX上より落下し、足をついてしまった。	60	30 ～ 49
2	14～15	10t車のコンテナの上に乗って、シートを掛ける作業をしていた時に誤って転落し、左手の手首のところを骨折した。	57	1～ 9
2	8～9	自社リサイクル工場内に於いてリサイクル砕石機械の作業前の点検整備中、ハシゴ5段位の所から足が滑り体ごと落ち脇腹を打ち受傷した。	42	1～ 9
2	10～11	当社内において、トラック（2tパネル車）荷台での廃棄物の荷降ろし作業中、高さ約1.2mの荷台から降りようとした。一旦、荷台に腰を下ろし、トラックのリアガードに足を掛けたが滑って転落し、右上腕部をコンクリート床面に打ちつけたものである。	52	30 ～ 49
2	8～9	ヤード内において、木くずを運び出す為、10tコンテナに木くずを積載し、シート掛け作業中、足元の積荷がずれて、バランスを崩し、コンテナ上部から約2m下の地面に落下した。救急車にて病院に搬送した。	53	1～ 9
3	16～17	作業場において、回収した雑誌を保管している箱（高さ約1.5m）がいっぱいになったため、その雑誌を足でならそうと箱の上に登ろうとした。その際、箱の上に足をかけ損ね、箱の角に足をぶつけ転落し負傷した。	43	30 ～ 49
3	11～12	廃棄物収集中、トラックの荷台の廃棄物の整理をしていて、荷台から降りる際、体勢を崩して下へ落下し、足を強く打ったため動けず救急搬送された。	56	1～ 9
3	15～16	会社敷地内の焼却プラント入口のゲートに設置されている移動式折り畳み扉の動きが悪かったので、脚立に乗って動作の確認をしていたところ、バランスを崩して倒れこみ、ゲートの柱に左肩をぶつけて負傷した。	55	1～ 9

3	16~17	構内で作業中、バケットから下りようとしたとき、手元が滑り右足から滑り落ち、右足を捻った。	31	100 ～ 299
3	13~14	運搬作業中、会社へ帰る際、トラックに積んだプラスチックの袋がずれていたため直そうとトラックのあおりに乗ったところ、誤ってバランスを崩し、地面へ足から落下した。	63	30 ～ 49
3	9~10	工場内梱包機清掃作業中に、バランスを崩して脚立より転落した。	57	30 ～ 49
3	16~17	産廃回収現場において、ゴミ箱の4tフックロールの荷台に乗り写真撮影後、シートをかけようとして足を滑らせ地面に落ち、左足首を負傷する。	45	50 ～ 99
3	14~15	屋根のない構内で、客のトラックが産業廃棄物を荷下ろしするため、運転手がトラック上部の飛散防止のために覆っていたシートの巻き上げ作業を行っていた。しかし荷物が少なかった上に雨が降っていたこともあり、手こずっていたため、見かねた被災者がトラック上部に登り、作業を手伝おうとしたところ約3.5mの高さのトラック上部から足を滑らし、アスファルトの路面上に転落し負傷した。	44	30 ～ 49
4	13~14	現場敷地に入る階段設置において、2次製品の踏み台の立ち上げを切断中、切断器具がはずんで左手のひらを負傷した。	28	10 ～ 29
4	9~10	ゴミの集積BOX（3600×1910×1170）の上にかかっているシートを外すためにBOXの上に登り、シートを外す作業を行おうとした際に足を踏み外し転落し、右手を強くついた。	31	10 ～ 29
4	9~10	会社内のガレージで、トラックの上で製品の積み下ろし作業中、誤って荷台から転落し、右足の踵を負傷した。	67	1～ 9
4	15~16	得意先で車輛の荷台に乗り材料を積み込みしていた。荷台へ前から積み込みをしていたが、まだ後方にスペースがあると考え、後退した際に荷台から落ちて負傷し	49	1～ 9

		た。（後方確認不足）		
4	11～ 12	車庫にトラックを駐車し10トントラックから降りる時、取手より手を滑らして落下し、腰を強打した。	64	1～ 9
4	14～ 15	ユニットのリビング内を歩行していた際、濡れていた床に足を滑らせ転倒し、臀部を強打した。痛みはあったが仕事を続けたところ我慢できなくなり、その後、椎間板ヘルニア・仙骨関節炎となった。	31	1～ 9
5	9～ 10	被災者は、当社駐車場において、アームロール車（4t）荷台にシート掛けをした車に付属の梯子を使って降りていた際、一段目に右足が引っ掛かってしまい、膝から地面に落下してしまった。（高さ50cm、ヘルメットあり）	19	1～ 9
5	8～9	当日荷主先（被災地）にて10tトラックに廃石膏ボードを積み込み、荷台上でシート掛けの作業中、荷台後方でシートを引っ張り荷台のふちに足をかけていたところ、雨で足が滑り落下し（約3.2m）、全身を強打負傷したものである。	40	10 ～ 29
5	12～ 13	事業場敷地内において、業務用トラックの洗車作業中に、濡れていた荷台から足を滑らせて地面に転落し、股関節を骨折した。	39	10 ～ 29
5	9～ 10	駐車場でトラックの荷台から降りようとした時に足を滑らせ荷台から転落し、左手をついた。	67	1～ 9
6	14～ 15	民家解体現場で、脱着式コンテナ庫に廃品を積み、飛散防止用シートを掛けようとコンテナ車の台座（50cm位）に上ったところ、雨が降っていたため足が滑り落下した。右足のつま先を地面に打ち、安全靴を履いていたため、右足指の基節骨を骨折した。	48	10 ～ 29
6	15～ 16	廃棄物回収先で、コンテナとフォークリフトのパレットを足場にして回収作業をしていたが、作業終了時にフォークリフトが移動した際、バランスを崩してしまい、当人が落下した。	37	50 ～ 99
6	15～ 16	維持管理を担当する事務所に所属する被災者は、災害当日、1号クレーンの点検及び給脂作業に従事していた。被災者がクレーンバケットに上がり作業を行っていたところ、フロア階に置いていた無線機に呼び出しを受けたため、クレーンバケッ	57	50 ～

		トから立馬に乗りフロアーに降りようとした時、立馬が滑り、それによりバランスを崩して立馬から落下し、右手首の骨折及び右第6肋骨にひびが入った。		99
6	16～17	トラックの荷台を片付けている時、雨が降っていて、荷台から降りる時に誤って足を踏み外し、足首を負傷した。	68	50～99
6	14～15	当社第一工場計量機付近で、廃品回収の雑誌などを降ろしている最中、トラックのコンテナからホイールローダーに移動している時、足を滑らせてホイールローダーのバケットの中に落下し、右手首がバケットの鉄角に接触して骨折した。	21	30～49
7	11～12	営業所へ当社、廃棄物中間処理場で使用する重機の修理点検が終了したため、回送車にて向かい、車に積み荷台上の重機より降りた際に機械の手摺につかまりそこないバランスを崩し、飛び降りてしまい負傷した。	67	30～49
7	8～9	作業現場において、大型バキューム車積載の泥を泥ピットにおろすため、車体後方を泥ピット側面につけ、車体後方のバルブを開け足場に戻ったところ足を滑らせ泥ピットに落下しそうになったため右手で車体をつかもうとしたところつかみきれずに右肩を脱臼し、さらに泥ピットに落下してしまい、その際に左足踵を骨折したものの。	42	1～9
7	21～22	当社工場にて大型トラックへ木材を載せた際、後方扉より一部の木材が出ていたため、木材を荷台へ押し込むため扉から登り、作業後降りる時に過って手足を滑らせ、1m位の高さから落ち踵を負傷してしまった。	30	30～49
7	9～10	工場1Fと2Fを接続する階段にて1Fの清掃作業に必要なバケツを降ろす際、被災者が両手に6個のバケツを持ち階段を降りバランスを崩したが、両手が塞がっていたため手すりを掴む事が出来ず転落に至った。階段を下りる際、必ず手すりを持つと言う安全教育が徹底されていなかった。	66	10～29
7	16～17	高さ1m位の場所から後ろ向きに転倒して、下にあった鉄板の上に落下し、頭部及び腰部を強打したものの。	46	1～9
7	6～7	工場の機械修理のため、機械の上へはしごを使って上がろうとした時、はしごの下にフレコン袋3個が積んであり、その上に登ろうとし、足を滑らせ左足膝を損傷し	55	1～9

		た。		
7	15~16	4階女子休憩室内の浴室脱衣場で、天井の蛍光灯が切れていたなので、交換しよう と、その近くの脱衣棚に上ろうとしたが、足を滑らせてしまい棚から転落し、その 際床に左手をつき、その後、手首が痛みとともに腫れてきた。当日は、左手首に 湿布を施し様子をみたが、腫れと痛みが取れなかった。骨折していた。	55	30 ～ 49
7	13~14	工場敷地内で回収済みのペットボトルの積み下し作業中、荷台の荷物を下ろすため トラックの荷台に上がろうとした際足場にしていたビールケースが滑ってバランス を崩して転落、背中を強打した。当日は雨が降っており滑りやすい状況だった。	61	50 ～ 99
7	11～ 12	自社敷地内置場にてヒアブを操作する為運転席に登る際、正しい順番で登らなけれ ばならない所を登らず誤って足をすべらせて落下した。トラックの鋭角な部分で 右足を捉り12針縫った。	38	30 ～ 49
7	6～7	材料の木くずをホッパー機に投入し、ホッパー高さ3.23m内の材料の状況を確認す るため脚立（高さ2m）に昇ってホッパー内を目視し確認した所、バランスを崩し 脚立がグラつき倒れそうになったので脚立から飛び降りたが、下が鉄板だったこと もあり、右足をひねり、腰を強打した。腰椎圧迫骨折、右踵骨骨折と判明し右踵 を手術することとなった。	55	50 ～ 99
7	15～ 16	中間処分場にてタンク車を洗車中、安全帯は装着していたが、フックを付け忘れて 落下し、両側踵骨骨折、右腓骨骨折をした。	47	1～ 9
7	13～ 14	平ボディトラックにコンテナを積みもうとしたところ、側面アオリにコンテナが引っ かかり積めないため、側面のアオリフックを外し、隙間を空けて積み込んだ（後部 アオリと繋ぐフックは掛けていた）。作業が終わり、荷台から飛び降りようと 足を側面アオリにかけたところ、フックが外れたままであったためアオリが傾き、 バランスを崩して荷台から落下した。荷台から飛び降りようとしたこと、フック を掛けていないのにアオリに足をかけたことが発生の原因である。	47	100 ～ 299
7	14～ 15	トラックターミナル内で、廃棄物（木製パレット）を2tトラックへ積込中、荷台後 方で木製パレットを移動して引きあげようとした際、足場が狭かったためバランス を崩し、2.0m位の高さから落下し、右足踵を骨折した。	48	30 ～ 49

7	12～ 13	当社作業場において、トラックの荷台から廃棄物の入ったフレコンバックをユンボでつかんで降ろす作業中、フレコンバックのフックをユンボに掛けようと荷台に上がっていたところ、誤って足を踏み外し、トラックの荷台より体の右側から落ち、右腕を受傷した。	65	1～ 9
7	9～ 10	自社工場内で、移動のため重機（0.1?ミニユンボ）を操作中、重機から降りる際にキャタピラから排土板へ移ろうとして不注意で足を滑らせた。排土板の隙間に右足が入り、バランスを崩して地面に倒れ込み、右足を捻った。	47	10 ～ 29
7	11～ 12	場内でユニックの荷台からコンテナを下ろす作業中に、コンテナにフックを掛けて荷台から下りるとき、足が引っ掛かり落ちた。	65	10 ～ 29
9	15～ 16	浴室清掃の最中に洗濯物が気になり、洗濯室へ向かい、洗濯機（排水の高さ調整の為地面より20cm高い位置に5台設置）の前にある踏み台（幅50cm高さ25cm長さ3.9m）に足を乗せたところ、十分に足が乗りきらず、高さ25cmの踏み台から踏み外し、右足を地面へ勢いよく着地した。その勢いで転倒したが、痛いところは右足ふくらはぎだけで、思ったほど痛くなかったので、そのまま洗濯作業他を行い仕事を終わらせた。翌日、右足ふくらはぎが、昨日より痛かったので、受診した。	66	100 ～ 299
9	8～9	安全帯の設置場所で梯子の高い位置に巻かれていた安全帯ロープを外すために、梯子に登ってロープを外し、梯子を下りようとした時に足を滑らせて梯子から落下し、その際梯子の下に設置してあった小型コンテナの縁に右足膝下部を強打し複数箇所骨折した。	40	30 ～ 49
9	16～ 17	現場でバッカン入れ替え作業中、ユニック車荷台へバッカンを設置し、ワイヤーロープのフックを外している時、手がすべり2mぐらいの高さから転落し、アウトリーガーの取手部分に尾てい骨を強打し地面におちた。	63	1～ 9
9	9～ 10	取引先で停車中にパワーゲートで荷物を積んで入れる作業をしていた、荷台が水に濡れていた為トラックのパワーゲート作業台より滑って左足をついてしまい、左かかとを骨折した。	55	1～ 9
		建設業者の倉庫で、当社貸付用鉄製カゴの交換回収業務のため、ユニック付8tトラックを市道に駐車し、ごみの入ったカゴをユニックで荷台に下し、留め具を外そ		

10	15～ 16	うと荷台あおり上部に上がり、左手でカゴ嵩上げに使用されていた板を掴んだところ、突然板がカゴの境目で折れ転落し、肋骨第3～5、3本骨折、全身打撲、擦過傷等負傷した。転落状況はあおり（90cm）から一旦荷台中央のあおり鉄製支柱に臀部から落下、そのまま脇の下付近（右肋骨）を強打し、荷台下の地面（荷台高さ1m）に後ろ向きのまま頭部から落ち全身を強く打ったもの。なお作業中はヘルメットを着用していたため頭部の異常は認められなかった。	45	10 ～ 29
10	9～ 10	ユニック車の荷台に2段に積んだフレコンバックの2段目が傾いていたので、それを直そうとした時に、荷台にはフレコンバックがいくつもあったため、荷台の端で調整していたらバランスを崩し、荷台から転落し負傷した。	73	50 ～ 99
10	11～ 12	縦型発酵槽脱臭ライン排管確認後、脱臭槽（約1.8m）から降りる際、足が滑り転落。右腕を骨折した。	39	50 ～ 99
11	10～ 11	ゴミカゴの産廃回収のため荷台（4tトラック）から降りる時、雨も降っていたため、滑り易くなっているところに、足を滑らせて落下し、柵の所に股間を強打した。そのまま、救急車で病院に運ばれ、入院することとなった。その後、尿道に管を通したまま退院したが、自宅療養で通院し、後日、経過を見て管を外す手術をする予定である。	40	30 ～ 49
11	16～ 17	工場廃棄物置場にて、回収してきた廃タイヤをトラック荷台から転がして下ろす作業中に、下ろすタイヤと一緒に荷台から落下してしまった。その際、頭部は手についてかばい無傷だったが、左足を捻ってしまい靱帯を損傷した。当日は様子を見ていたが翌日腫れたため日曜の休日診療を受診した。当番医が外科で専門外だったため改めて翌日整形外科を受診した。	26	1～ 9
11	16～ 17	倉庫2階U字型コンベヤ奥に商品が停滞しており、商品を送り出す為にコンベヤ縁に左足をかけて跨いだ。その際、内側のケーブルボックス上に右足で着地し、内側に捻り転倒した。	50	300 ～ 499
11	9～ 10	車載コンテナを車に吊り上げる前に、コンテナの上にあがりネットを広げてかぶせ、降りる際に足を踏み外して落ち、膝をぶつけて負傷した。	37	10 ～ 29

11	11～12	焼却施設のメンテナンス（排気風洞内部の清掃作業）作業を行おうとして風洞入口から後ろ向き状態で足から進入したが、風洞内部の入口左手にある足場が分からず、そのまま落下し背中を打ち背骨を骨折した。このメンテナンス作業は、新規入場者を伴う場合は、2人組で行うものだったが、風洞内部の構造や作業手順について安全衛生教育が完了する前に、労働者の勘違いから作業を単独で開始していた。	44	10～29
11	9～10	コンテナ置き場にて、発泡スチロールの積み込みの為トラックの後ろに脚立を足場にするため置いて上り降りしながら作業していたが、脚立を降りる途中でバランスを崩し転倒した。足を伸ばして使用するタイプの脚立で、伸ばした際に不安定であった。胸を圧迫して強打したため第6肋骨1本骨折。目じりを切り出血した。	60	10～29
11	12～13	会社内で、2トントラックの上に乗って鉄を降ろしていた際に滑り落ち、地面に手をついたため左手首を痛めた。	36	1～9
11	9～10	会社駐車場にて荷台の清掃作業後荷台から降りようとして、荷台が清掃後水で濡れていた事もあり足元が滑り転落した。転落した際にトラックの後ろに頭（後頭部）をぶつけた。後日に体調が急変し通院した。	48	1～9
12	11～12	中間処理工場内にて、北ヤードの残土ステージから、重機を下ろそうとして、腕を伸ばして降りる体勢をとり、降り始めたとき、重機キャビン内で、被災者自身がその重機の傾斜により体のバランスを崩して、窓側へ倒れかけた。その際、重機のレバーが体の一部にあたり、そのレバーの運動により重機のアームが旋回した。その結果、下降中の重機がバランスを崩して転倒し、その際、被災者は頭と腰部を打ち被災した。	64	100～299
12	12～13	工場焼却炉近くの集積場において、収集してきた建築廃材の荷降ろし作業中、荷台（コンテナ）に上がり移動していたところ、麻袋の紐に左足が引っ掛かったためバランスを崩し、体勢を捻りながら荷台より落下した。その際に左足を荷台の縁にぶつけ、脹脛付近に切傷、および強く捻って足の付け根から尻に打撲を負い、あわせて両腕を強くつき両肩を負傷した。	35	50～99
		三方が壁に囲まれている場所に、入口が車両前方の状態で停車した。荷台シート		50

12	3~4	の前部分をたたみ、後ろ部分をたたもうとして入口を背に向けて作業していたところ、突風が入口から吹き、シートとともに約3mの高さから落下し負傷した。	62	~ 99
12	14~15	産廃の荷卸しの作業中、平ボディの荷台から、後ろ向きで落下し、腰を打ち、骨盤骨折を負った。	50	1~ 9
12	7~8	シャワーノズル清掃中、集塵機の梯子から下りる際に手足が滑り、高さ40cmのブロック壁の上に落下した。	45	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html